

令和2年度下半期学校評価・学校生活・自己評価アンケートの結果と分析

令和3年3月15日
京都市立嵐山東小学校
校長 河野 由佳

保護者の皆様にご協力をいただいている「アンケート」調査を学校評価の大切な指標として、保護者の皆様のご意見を本校教育に生かす取組を進めてまいりました。

今年度も、7月に引き続き、2月に「下半期アンケート」として、ご協力いただきました。結果をもとに、本校の教育活動の中で、継続発展すべきところ、改善すべきところや課題を明らかにし、今後の教育活動に生かしていきたいと思います。

1. 結果

<div>保護者</div> <div>(%)</div>	よく出来ている		大体出来ている		あまり出来ていない		出来ていない	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
学校の教育方針や教育活動が学校だより・学年だより、ホームページなどを通して伝わっている。	33.3	38.4	63.5	59.9	3.2	1.7	0.0	0.0
教職員は熱意をもって教育活動に意欲的に取り組んでいる。	49.5	53.1	47.8	44.8	2.7	2.1	0.0	0.0
教職員に気軽に相談できる。	47.8	41.0	48.9	47.2	3.3	10.3	0.0	1.4
学習環境は整っている。	34.3	27.9	54.9	68.6	10.5	3.1	0.3	0.3
子ども達は、意欲的に学習に取り組み、学習したことを理解している。	21.7	19.9	69.9	64.4	8.0	14.7	0.3	1.0
子ども達は、自ら進んであいさつをすることができる。	18.5	15.6	65.2	54.3	15.7	29.1	0.7	1.0
子ども達の話聞く姿勢が育ってきている。	13.5	17.6	57.6	73.4	25.7	8.6	3.1	0.3
子ども達は、きまりを守って生活している。	15.4	24.5	73.4	68.6	10.8	6.6	0.3	0.3
子ども達は、よい友だち関係を築いて楽しく過ごしている。	21.9	37.6	70.5	57.9	6.9	3.4	0.7	1.0
子ども達は、「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣ができています。	32.9	34.2	62.6	53.4	4.2	10.6	0.3	1.7
子どもと会話する時間を大切にしている。	33.2	26.5	52.2	66.0	12.8	7.2	1.7	0.3
学校から配られるお知らせのプリントなどは必ず見ている。	26.0	39.9	64.9	52.2	9.0	7.2	0.0	0.7
参観・懇談会やPTA活動に積極的に参加している。	41.1	16.5	52.3	51.6	6.6	28.8	0.0	3.2

<div>児童</div> <div>(%)</div>	そう思う		大体そう思う		あまりそう思わない		そう思わない	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
学校は楽しいですか。	67.9	66.9	21.7	26.6	8.3	5.9	2.1	0.7
なかよしの友だちはいますか。	85.8	94.0	12.3	4.7	1.4	1.3	0.5	0.0
友だちは大切にしていますか。	89.7	94.9	9.2	5.1	1.1	0.0	0.0	0.0
勉強(じゅぎょう)はわかりますか。	79.6	86.0	19.6	13.5	0.7	0.5	0.0	0.0
じゅぎょう中進んで発表していますか。	57.8	66.5	33.1	26.7	7.7	6.0	1.4	0.8
しゅくだいはしていますか。	41.1	37.1	33.9	29.3	20.2	25.8	4.8	7.8
自分から「おはよう」とあいさつしていますか。	85.1	86.2	12.5	10.7	2.1	2.8	0.3	0.3
学校のきまりややくそくはまもれていますか。	59.5	58.8	28.2	29.4	9.3	8.0	3.1	3.8
先生や友だちの話をしっかり聞けていますか。	64.9	55.8	32.0	38.4	3.1	5.1	0.0	0.7
家に帰ってから学校であったことをよく話しますか。	70.9	66.8	26.6	27.3	2.4	4.2	0.0	1.7

<div>教職員</div> <div>(%)</div>	よく出来ている		大体出来ている		あまり出来ていない		出来ていない	
	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期	上半期	下半期
子どもにとってわかりやすい授業を進めている。	11.8	11.1	88.2	72.2	0.0	16.7	0.0	0.0
子ども・保護者からの相談に適切に対応している。	11.1	10.5	88.9	84.2	0.0	5.3	0.0	0.0
学習しやすい環境を常に整えている。	15.0	22.2	80.0	66.7	5.0	11.1	0.0	0.0
子どものよいところを見つけほめている。	23.8	10.5	66.7	89.5	9.5	0.0	0.0	0.0
一人一人の人権を大切にされた教育活動をすすめている。	20.0	10.5	75.0	84.2	5.0	5.3	0.0	0.0
子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。	30.0	18.8	70.0	81.3	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもは自ら進んであいさつをするようになってきている。	5.0	0.0	85.0	71.4	10.0	28.6	0.0	0.0
子どもは話を聞く姿勢が育ってきている。	8.7	0.0	26.1	77.8	65.2	22.2	0.0	0.0
子どもは学校のきまりや約束を守って生活している。	0.0	0.0	81.8	85.7	18.2	7.1	0.0	7.1
子どもは良い友だち関係を築いて楽しく過ごしている。	4.5	7.1	81.8	92.9	13.6	0.0	0.0	0.0

2. 分析

1) 学習面

- ・勉強（じゅぎょう）はわかりますか。（児童）
- ・子どもたちは、意欲的に学習に取り組み、学習したことを理解している。（保護者）
- ・子どもにとってわかりやすい授業を進めている。（教職員）

児童で「そう思う」と回答している割合は 86.0%（上半期 79.6%）,「大体そう思う」は 13.5%（上半期 19.6%）でした。保護者で「よく出来ている」と回答している割合は 19.9%（上半期 21.7%）,「大体出来ている」は 64.4%（上半期 69.9%）でした。教職員で「よく出来ている」と回答している割合は 11.1%（上半期 11.8%）,「大体出来ている」は 72.2%（上半期 88.2%）でした。児童は「授業（じゅぎょう）がわかると思う」と回答している割合が上半期に比べて高くなりましたが、保護者・教職員については、肯定的な回答の割合が低くなっています。保護者の自由記述からは、

- 「お友達と一緒に授業を受けることによって、学ぶ姿勢が身についたと成長を感じています。」
- 「自主勉強のノートにまで一言コメントを書いてくださり感謝しています。（略）一人一人をよく見ていただいているなとうれしく思っています。」
- 「理解できていない箇所の補習など、もう少し時間を取っていただきたいと思っています。」
- 「この状況がしばらく続くと考えたとき、どうしても学校と家庭学習の両輪で進めていかなければ、学習の理解が深まらない子どもが出てきてしまうのではという漠然とした不安はあります。」という意見がありました。

新型コロナウイルス感染症防止対策として、話し合い活動や実習・見学・体験活動、各種行事が制限されるなど、従来の形態で教育活動を行うことができないこともありました。それぞれの学年でつけたい力を習得できるように工夫を重ねてきました。また、新たな取組として、週に1時間の「グングンタイム」を設定し、児童一人一人の課題に応じた補習や、計算スキルを高めるための取組を行いました。さらに、家庭学習として、漢字・計算練習等のドリル学習だけでなく、苦手な部分の克服や興味関心のある事柄を探究する一人学びを充実できるよう、全学年、自主学習にも取り組みました。

次年度からは、授業時間を1コマ45分に戻し、主体的・対話的な学習をさらに進めていけるようにする予定です。学校としてできる限りの感染症拡大防止、行事の見直し、補習等も含めた取組の工夫をしながら、教育活動を進めていきたいと考えています。

2) 生活面

- ・友だちは大切にしていますか。（児童）
- ・子ども達は、よい友だち関係を気付いて楽しく過ごしている。（保護者）
- ・子どもは良い友だち関係を築いて楽しく過ごしている。（教職員）

児童で「そう思う」と回答している割合は 94.9%（上半期 89.7%）で、「あまりそう思わない」「そう思わない」は 0%でした。保護者で「よく出来ている」と回答している割合は 37.6%（上半期 21.9%）

でした。教職員で「よく出来ている」と回答している割合は 7.1%（上半期 4.5%）,「大体出来ている」と回答している割合は 92.9%（上半期 81.8%）でした。いずれも上半期よりも肯定的な回答の割合が高くなりました。保護者の自由記述からは、

- 「行事もほとんど縮小・中止となったことは残念でしたが、一方で家庭での会話はより深まり、友達とも日常会話で深く結ばれている気がしました。」
- 「子どもたちの間の人間関係等にすごく気を配っていただいております。また、少しでも何かあったら報告していただいております。」
- 「これからイジメなどに発展していく年ごろであることから、今一度、人権問題や道徳などにおいて学校でも注視して頂きたいと思います。そのために家庭でももっと子供の様子を観察し、子供の話を傾聴する姿勢を親である私たちももっととっていく必要があると思いました。」

という意見がありました。

本校では、毎月「きずなの日」を設け、「自分も他者も大切にするためにどうすればよいか」考える学習を進めています。また、「こころとからだアンケート」や学期末の担任との面談「おしゃべりタイム」を実施し、子どもたちの心の変化や友達との関わりの変化を見逃さないように努めています。集団で過ごす学校生活でこそ味わえる自己有用感をさらに高めていけるよう、働きかけていきます。

3. 保護者の自由記述より

- ・今年は行事などもなくなり、学校での様子を見る機会が少なかったからこそ、日々の授業をもっとホームページで発信していただけたらと感じています。

⇒行事や特別授業だけではなく、普段の授業の様子などもお知らせしていけるようにしていきます。

- ・休校になった時、オンライン授業が整っていない。
- ・未就学児同伴の参観等が行けなくなり、子供も大変残念がっていました。Zoom や You Tube の限定公開の活用を望みます。

⇒G I G Aスクール構想の推進に向けて、3月中に、児童生徒に一人1台端末が配分されることになっています。そこで、教員自身も授業等でI C T活用ができる技術向上のため、研修会に参加するなどして研鑽を積むようにしていきます。

⇒授業参観・懇談会については、肖像権・個人情報保護の観点も考慮した上で、開催形態の工夫を検討していきます。

他にも実現可能な要望に関しては検討し、改善していききたいと思います。たくさんのご意見ご感想をありがとうございました。

4. さいごに

日々の授業において子ども達の学習状況・成長を見取り、学力定着とともに一人一人の課題にも目を向け、教職員一丸となってその解決に精進していきます。今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。